

No.		項目	質問	回答
1	-	-	第2次肝付町総合振興計画に計画した分野ごとの個別指標、個別基本施策に関わる主要事業の成果分析を行って第3次肝付町総合振興計画に反映させていただきたい（総論は同じでも各別は違うものと思料するが？）	基本施策及び指標について、各担当部署が個別に進捗状況、現状、課題等を個別に評価して、今後10年で事業実施することを検討し、第3次計画の策定に至っています。 ※評価につきましては、別紙「第2回審議会資料」をご覧ください。
2	-	-	第2次、第3次肝付町総合振興計画の基本構想は同じ方針で継承する旨ありましたが・・・総論と各論に齟齬がないですか？ これから10年間、更に少子化、高齢化に伴う人口減少、地方財源の減少が避けられない避けて通れない事への備える為の分野ごとの個別指標以下の検討は、よくよく思料して事業計画を策定されていますか？	全4回の審議会で、本町の現状、課題、時代の潮流を踏まえて協議し、方向性を定めています。
3	-	総合振興計画と関連した各種計画の相互関係	主要計画に付随するその他の計画、構想（第3期肝付町人口ビジョン、第3期肝付町地域創生戦略、毎年度進捗状況の評価する肝付町過疎地域持続的発展計画）、肝付町スペースサイエンスタウン構想との整合性（成果の確認と計画への反映）は如何に？	各計画の担当部署と協議し、整合を図りながら作成しています。
4	-	集計したグラフ	グラフに表した数値データは定量評価して対策改善に生かすべき、10年間の推移、前期、後期5年ごとの推移、毎年度の評価を明確にして、常に先行的に状況変化の推移を予察し、10年先を見据えた行政運営を計画してください	1、2の回答を参照ください。
5	-	-	各種事業、補助金、報奨金等に関して、過去10年間或いはそれ以前、成果が得られてない事業の見直し廃止を審査・検討して財政健全化を図る。費用対効果の適正化人口減・財源の減少に備えた各種事業計画を策定して頂きたい	肝付町行政改革大綱に基づき、事務事業スクラップの検討や「補助金等見直しガイドライン」による点検などの取組を通して財政健全化の推進を図っています。
6	-	-	もとはといえば3地域（高山、内之浦、岸良）、地政学的に見ても3区分が、合併しての肝付町であることに鑑みそれぞれの地域の良さを引き出す各種の施策を計画立案して頂ければと思料する	個別計画の作成の際の参考とさせていただきます。
7	-	過疎化対策	交流人口を増やす為の年間を通じた状态的な観光資源と観光ルート国道448号づくりして地域活性化を引き出す政策立案をお願いしたい 長野11面観音像、叶岳展望台	「国道448号沿いの観光資源の整備」は42ページに主要事業として記載しており、町としても重要と考えています。肝付町だけではなく、南回りの錦江町、南大隅町と連携を図りながら観光ルートを検討してまいります。
8	-	観光	内之浦、岸良地域には大自然、地域性豊かな秘めたるポテンシャルがある。しかしながら、磨かざれば、ただの石ころ。 過疎化、人口減少、高齢者の増加等で行財政が厳しくなる旨は地域住民も皆さん理解していると思います。 変えられないものは変えられないが、変えられるものは変えて、磨けるものは磨いて交流人口を増やせる施策経済の活性化に繋がるのではないのでしょうか？ 秘めたるポテンシャル：最近 若者たち:岸良海岸の岩場でのボーダリング、広瀬川河口でのサーフボード	いただきましたご意見をもとに「基本目標1 経済・産業」-「基本方針③ 商工業及び観光の振興」に以下の事業を追加します。 主要事業名：秘境的自然の体験コンテンツ化 概要：辺塚海岸をはじめとする海に関連したスポットや森に関連した手つかずの豊かな自然を「秘境的自然」として活用し、肝付町ならではの観光コンテンツとして昇華させるため、観光基本計画をもとに検討を進めます。
9	-	銀河アリーナの件	肝付町第2次総合振興計画では内之浦総合支所の事務機能を移す計画がありましたが・・・第3次総合振興計画では含みを持たせた？複合施設（議会において内ノ浦中学校の改修工事をするか銀河アリーナの複合施設機能として中学校の機能を・・・）もう一度公共施設の利活用の原点に立ち返り検討してください。 生涯学習施設に義務教育の教育施設の併設には反対です。中学生ともなれば将来の進学に向けた学習に集中していく過程にあります。生涯学習の高齢者が随意時間にアリーナの施設が使えるくなる。複合化こと聞こえはよいが、利用者の利便性が悪くなります。学校教育はすでに施設が整っている校舎で行う。施設の老朽化は補修改修で、少子化で生徒数が少なくなり教職員の配置他の問題あるならば、先ず小中一貫校の検討 内之浦小学校の改修工事も完了しておいることでもあり財源の検討にも節約になると思います。中学校の父兄さんには説明された様子 議会での教育委員会の説明では、内之浦地域住民に説明する旨ありましたが、未だ説明がありません。 コスモピアの解体時においてもこの種説明のあり方について地域住民は町の行政説明に不信感を持っています。地域住民の納得できる説明をお願いします	銀河アリーナに学校機能を持たせることについては、老朽化した内之浦中学校の教育環境を維持改善するための選択肢の1つとして、検討を着手することが施政方針で示されておりますが、現時点で確定していることはありません。生徒・保護者の意向が重要ですので、学校側と連携を取りつつ慎重に検討を進めて参ります。また、ご指摘のとおり、現在銀河アリーナを利用されている方の利便性が悪くならないよう、銀河アリーナ所管課とも協議しつつ検討を進めて参ります。
10	-	旧コスモピア 温泉施設	ふるさと創生基金によりボーリングした温泉源の温泉水の利活用について 1回目の公募が締め切られて応募企業なし、さらにより良い条件を模索して再公募する様子ですが、温泉水の地域への還元策を計画に反映できないものでしょうか？検討をお願いします	源泉の量の確認や配布の方法、また管理の方法など、検討する事項が多いと思います。 また、町の貴重な財産ということで、今後とも適切な維持管理をしていきたいと考えております。
11	(1)	民間ロケット打ち上げ推進	内之浦射場活用研究会の発展的な体制整備とは何を指すのか？意味不明 また 地元体制の強化とは何を意味しているのか？意味不明 内之浦宇宙空間観測所の更なる有効活用を図る？意味不明 小さな町 肝付町の行政機関が国の政策で科学衛星、探査機の打ち上げと宇宙空間の観測・追跡を行うJAXAの有効活用を図る？ どの立ち位置でJAXA、文科省等の関係と調整？ 第2次計画から早何年交渉中？、調整中？交渉結実にはあまりにもハードルが高過ぎるのでは？民間、大学の研究ロケットの射場使用には安全性、国際海峡の大隅海峡に落下した場合の対応、 JAXA内之浦宇宙空間観測所の現地職員との対応は如何に？	内之浦射場活用研究会は、九州航空宇宙開発推進協議会のプロジェクトに位置付けられており、内之浦射場等を活用した宇宙産業の振興を通じて、九州全体の経済発展に寄与することを目的として活動しています。そのため、内之浦射場の活用については、肝付町単独で国やJAXAに働きかけるのではなく、九州の航空宇宙関連産業等と連携し、研究会として国やJAXAに対する情報提供、提言・要望活動等を行っています。今後も、大学やスタートアップ企業等との情報共有・連携を深めながら、内之浦宇宙空間観測所の利活用について、地域や産業界等からの意見を取りまとめ、国やJAXAに対する提言・要望につなげてまいります。 また、「地元体制の強化」とは、内之浦地区をはじめとする地域の方々とJAXA等の関係機関との情報共有や連携を深め、射場・観測所を取り巻く環境や社会情勢の変化に応じて、地域として必要な情報提供や協力を行える体制を強化することを想定しています。
11	(2)	宇宙関連関連産業の誘致活動の推進	内之浦射場活用研究会を中心に、射場の利活用に向け関係機関との協議を進めるとともに、アンテナ地上局や衛星ビジネスなど？、宇宙輸送系に限らない企業誘致に積極的に取り組む？ 過去5年（肝付町第2次総合振興計画後期版）の期間、企業誘致できなかった。 ロケット開発研究、発射場近傍の立地条件は何か？発射につなげるメリットは、何か理解しているのだろうか？肝付町にロケット関連企業がモノづくりするための最小立地条件は何か？ 理解しているのだろうか？ 飛翔体の発射は地上を走る車を作るのとは訳が違う	ご意見のとおり、ロケットの研究・開発や射場周辺への企業立地には、安全性や施設・設備等の特有の条件があることを認識しています。その上で、宇宙輸送系に限定することなく、宇宙ビジネス全般を視野に入れ、射場の利活用と企業誘致に取り組んでまいります。

No.		項目	質問	回答
11	(3)	宇宙関連産業団地形成の検討	前項に関連して肝付町を囲む近隣周辺にロケット関連の部品供給企業が存在していない 根本的な問題があると思料する。 立地条件、交通網等のインフラ、警備を含めたすべての条件を満たすには、ほぼ無理かと思料する 国の政策や科学技術・イノベーションの振興、国民の健康や安全を守るために設置された組織において設立された機関 宇宙空間観測所(JAXA)の施設を民間、大学の研究に施設の開放がされないと思う。現に岸良海岸で大学生のロケット発射試験？にJAXAが立ち会わないのは何故か？ 万が一の場合の責任問題に発展しかねない要素を含んでいるのではないか？ 国の威信をかけての科学技術の研究機関の施設開放は無理と承知すべき 日本全国に誇れる発射施設を有する少子高齢化、人口減小、さらには疎化の波が差し迫っているのかとしているのに肝付町の行政として将来いかなる手立てを 企画するかではないだろうか？ JAXAの研究をサポートするためにの取組みを行っていただきたい。 {コスモピア宿泊・温泉施設が解体除却され、現在、内之浦地域には数件の宿泊施設で対応できていない} ・射場施設の年間の施設維持管理を担っている関係職員、IHI、三菱重工等の関係技術者の宿泊先は 大半が内之浦地域の宿泊施設が足りず鹿屋市の宿泊施設を利用して通勤しているのが現状 ロケット発射の前後の関係者、見学者等のピーク人員の経済効果もあるが、常続的なJAXA関係者の 滞在時のサポートが肝付町に必要である。これが町の経済効果に寄与するものと思料する	ご意見のとおり、射場周辺への企業立地には、交通・インフラ、安全管理、関連企業の集積等、様々な課題があると認識しています。 ご意見は、今後の事業実施の際の参考とします。
11	(4)	次世代人材の育成活動 大学等による共同実験の定着化及び地元の児童生徒を対象とした体系的な宇宙教育の確立	宇宙教育と地域振興一体的に推進「宇宙共創コンソーシアム」の設立「コンソーシアム」の目的は単一組織では難しい大規模な事業や研究、技術の標準化などを進めるために結成する。その共通の大義名分は何ですか？ 子供たちの宇宙に関する関心は所要の都度、講師を依頼すれば済むこと 少子化、人口減小になり更に財源が厳しくなると、見直すべき事業と思料する	「宇宙共創コンソーシアム」は、宇宙を単なる教育素材として捉えるのではなく、宇宙を核とした人材育成と地域の持続的な発展を共通の目的として、官学産民が一体で取組を進める基盤と考えています。 持続的かつ効率的に宇宙教育や地域振興を推進することで、限られた財源の中でも継続可能な取組を目指します。
11	(5)	基本施策 1『宇宙の町』きもつきファンづくりの推進	肝付町民は以下のことを周知しているだろうか？ {きもつき宇宙協議会} 設立・運営、地域のファン組織の立ち上げ、 ウチノウラキモツキ共和国国民制度の構築 宇宙兄弟都市、銀河連邦：連携自治体、町民等を中心に・・・？地域住民には聞きなれないフレーズに聞こえるが 肝付町全体としての周知盛り上がり・・・如何に行政担当者は認識していますか？	「ウチノウラキモツキ共和国」等の取組は宇宙の町・肝付の魅力を発信する重要施策ですが、住民への更なる浸透が必要と認識しています。今後は広報紙やイベント等を通じ、分かりやすい周知に努めます。
12	-	歴史資源の発掘・保全 主要事業 ・観光拠点施設「宙の家」の運営	商社「そらまち」が誕生して「ふるさと納税」品目を こちらで扱うようになり、JAXAを訪れた観光客が「宙の家」に立ち寄り、宇宙関連グッズや地域の特産品販売の売り上げの推移は？ この店舗は観測所の資料館から離れり、観測所出入口からも離れており、しかも国道のカーブの内側に位置して気が付いた時には 行き過ぎてしまいそうな場所更に店舗入り口が道路に反対に面しており、営業しているのか確認しづらい、一見休店しているのかと、 思ってしまうお店の作り果たして年間の売り上げは如何に？ 観光拠点施設といえるのか疑問を感じる また、 町からの派遣職員？の人件費に対する売り上げの費用対効果は如何なものか？ 検討が必要ではないでしょうか？ 町民の税金で賄っており、成果が上がりになら、内之浦総合支所の観光協会に移動または商社「そらまち」に組み入れる検討が 必要ではないかと思うところです	当該施設は、町が観光拠点施設として整備し、民間の一般社団法人が運営しております。また、現時点で町から当該施設の職員派遣は行っておりません。 このため、運営者の売上や人件費等について、町が直接管理・評価するものではありません。 一方で、町としては、施設が観光拠点としての設置目的に沿って活用されるよう、利用状況等を踏まえながら、今後の施設のあり方や観光客の周遊・滞在につながる取組について検討してまいります。
13	-	基本施策2 観光の広域連携・受入体制の強化 基本施策 観光拠点・街並みの整備・改善 主要事業名 国道448号沿いの観光資源の整備	大隅半島南回りルートとして設定されている国道448号沿いの自然景観を 生かした観光地づくりとは？ 昨今大隅半島巡りと聞くと・・・志布志港から降りた後の大隅半島ルート選びは国見トンネルを通り JAXA宇宙空間観測所経由して佐多岬のほうへ抜けるルートが好評と聞きますが・・・ 太平洋を望みながらの観光ルートのについて再考すべき時期に来ているのではないかと思います	「国道448号沿いの観光資源の整備」は42ページに主要事業として記載しており、町としても重要と考えています。 肝付町だけではなく、南回りの錦江町、南大隅町と連携を図りながら観光ルートを検討してまいります。